



平成24年度 第6回遊技産業

# マネジメント・カレッジ

## 参加者募集

主催:社団法人日本遊技関連事業協会 人材育成委員会

日程

# 9.27[木]28[金]

会場

## 晴海グランドホテル(東京都中央区晴海)

東京駅から  
 <バス>八重洲南口 丸の内南口より  
 晴海埠頭行 晴海3丁目下車 約30分  
 <電車>JR山手線 浜松町駅で乗り換え  
 都営大江戸線 大門駅～勝どき駅 約30分

### 主な実施内容

- グループワーク  
参加者を6名×10グループに分け、テーマに沿ったディスカッションを2日間に亘って実施。最後にはチームごとにプレゼンテーションをし、優秀なチームを表彰。
- 懇親パーティー・交流会  
ホール、メーカーなどのリーダーとの交流、意見交換。
- 特別講師  
京都市スポーツ政策顧問・京都アクアリーナ館長、浜松大学教授  
山口良治

### 第5回遊技産業マネジメント・カレッジ 参加者の声

業界をともにする企業が一堂に会する研修は他にはない。他業種の方々との交流は貴重な財産。

参加者の皆さんが非常に真摯な態度で参加されていた事に感動しました。  
(販売会社)

ホールとの交流は勿論、メーカーの同じ職種の方との情報交換が出来た。又、プレゼン成功に向け、チーム一丸となった。  
(遊技機メーカー)

同業・異業含む多彩な方々との交流を持てたこと。同じバクトルでも人や地域によって様々な手法や発想があると言うことが実感できた。(ホール)

チーム内での意見交換で、様々な考え方に触れることが出来た。業界の未来について熱い想いを持っている人が多数いることが嬉しかった。  
(ホール)

ホール、メーカーの垣根を越え、管理職中心のスキルが高い人材中で、自らの足りない点等が再発見でき、今後の改善点が明確になった。  
(設備機器メーカー)

皆さん、出来ない理由ではなく、やる方法を模索していたこと。視点を考えることの大切さ。  
(ホール)

普段、自社・自店がもっと良くなるには?と考え行動してきましたが、もっと業界全体で捉える広い視野が必要だと感じた。(ホール)

他社の方々と交流が出来たこと。  
 意見交換より新たな発見や共感が出来た。(ホール)

様々な分野の方と共に過ごすことができ、それぞれの知識・経験を聞くことができた。  
(設備機器メーカー)

別の視点でパチンコ業界を見たこと。  
 他のホールの責任者と会話が出来た。(ホール)

とても勉強になりました。ホールの実状も聞いて参考になった。  
 今までとホールの見方が変わった気がします。(設備機器メーカー)

### 趣旨

遊技産業マネジメント・カレッジとは、パチンコ・パチスロ新時代に求められる遊技産業の新しいリーダーの養成を目指す研修です。2007年から始まり今年で6回目を迎えます。研修内容は宿泊を伴う2日間に亘るグループワークを中心に、特別講演、業界リーダーとの意見交換で構成されています。遊技産業が直面する問題に対し議論し課題を共有するとともに、産業発展に貢献してきた先輩達との意見交換を通して優れた“DNA”の継承を目指しています。さらには、これからの産業を牽引していく若いリーダー同士の人脈形成に大いに役立つものと期待されます。対象は遊技産業に携わる中堅管理職で、ホールはエリア長・店長クラス、遊技機メーカー・販社等は部課長クラスを想定しています。企業の将来を担う幹部養成の一環として奮ってご参加ください。

## 参加者募集 応募要項

応募期間 7.10[火]~8.31[金]

参加人数 60名(60名定員になり次第、締め切り)  
 参加費用 日遊協会員 :20,000円(1名)  
 会員以外の方 :30,000円(1名)

応募方法 応募用紙に記入の上、日遊協宛にFAXして下さい。(先着60名)

※詳しい受付方法は裏面をご覧ください。